

## 【外部制御端子の機能】

ピン	区分	機能	備考
1 (RXD)		RXD(受信データ)	RS-232C(RXD)を接続します。
2 (TXD)	А	TXD(送信データ)	RS-232C(TXD)を接続します。
3 (GND)		GND(信号グランド)	RS-232C(GND)を接続します。
4 (RXD)		RXD(受信データ)	RS-232C(RXD)を接続します。
5 (TXD)	В	TXD(送信データ)	RS-232C(TXD)を接続します。
6 (GND)		GND(信号グランド)	RS-232C(GND)を接続します。
7 (RXD)		RXD(受信データ)	RS-232C(RXD)を接続します。
8 (TXD)	С	TXD(送信データ)	RS-232C(TXD)を接続します。
9 (GND)		GND (信号グランド)	RS-232C(GND)を接続します。

## ■設定方法

[設定用スイッチ1]						
①コマンド変換(分配)設定						
記中の左伯を"AW-訳中」	++					

設定の矢印を"0"に設定します。

② マルチプレクサ(1対2)設定 設定の矢印を"1"に設定します。

③ マルチプレクサ(2対1)設定 設定の矢印を"2"に設定します。



#### ■設置

・MFPシリーズは、EIAコネクタパネルや各種フレームなどに取り付けられるシリアルコマンド変換・分配機です。 ※接続図をご覧ください。

- ・システムの変更や改修時にもプレートの取り替えだけで対応できます。
- ・付属のねじ(2本)を使って、E | A コネクタパネルや各種フレームなどに取り付けます。

#### ■適合線材(7ピン外部制御入出力端子)

- ・適合線材:AWG25-16
- ・単 線:0.14mm~1.5mm
- より線:0.08mm~0.75mm

#### ■線材のむきしろ

〔単線、より線〕

## ●重要

より線を使用するときは、むきしろ部分に半田めっきをしないでください。 経年変化などで接触不良が発生する可能性があります。

## ■配線手順

- 1. 各端子からヘッダーを取り外します。
- 2. 取り外したヘッダーのねじをゆるめて、ケーブル挿し込み口を閉じている金具を広げます。
- 3. ヘッダーに先端を加工した線材を挿入します。
- 4. ねじを締め、線材が抜けないことを確認します。
- 外部制御入出力端子
- ねじの締め付けトルク: 0.22 N·m~0.25 N·m {2.2 kgf·cm~2.5 kgf·cm} ドライバーは刃先端が2.5 mmのマイナスドライバーを使用します。 5. 線材を接続したヘッダーを端子に取り付けます。



	-	
	-	
7/V HJ		

## シリアルコマンド変換・分配機 (MFP-RS-CONT-01)

ΠV

この度はカナレシリアルコマンド変換・分配機をお買い求め頂きありがとうございます。 ご使用前にこの説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

また、お読みになった後もいつもご覧頂けるように大切に保管してください。

## ■製品概要

本機は、MFPサイズで、外部機器からのRS-232Cコマンド変換・分配機です。アナライザ機能もあり、既設の制御システムとの連携に役立ちます。

## ■付属品をご確認ください。

取扱説明書 ・・・・・・・・・・・・・・・・1部 AC r s r s r sブロックコネクタ9P・・・・・・・・・・・・1個 取付ねじ (M3×6) ・・・・・・・・・・・・・4本

#### ■免責について

弊社はいかなる場合でも以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ①本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ② お客様の誤使用や不注意による障害または本商品の破損など不便・損害・被害

③お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合 ④本商品の故障・不具合および設定・設置の誤りを含む何らかの理由または原因により、使用できないことで被る不便・損害・被害

- ⑤ 取付方法の不備など、本商品の不良によるもの以外の事故に対する不便・損害・被害
- ⑥シリアルコマンド変換を組み込んだシステムは、一定の確率で誤動作や故障が生じる場合があります。

万が一、かかる誤動作や故障が生じた場合であっても、人の生命、身体、財産への危険又は損害が生じないように、お客様の責任において フェールセーフ設計など安全対策をお願い致します。

#### ■安全上の注意

この取扱説明書の表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。 次のことを必ずお守りください

表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、以下のような表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容である事を示します。
▲ 注意	誤った取り扱いをすると、人が怪我をしたり物的な損害を負う可能性が想定される内容である事を示します。

▲ 警告

## ■本製品の分解、改造、修理を絶対にしないでください。

感電の原因となることがあります。 内部の点検や清掃・修理・調整はお買い求めの販売店にお問合せください。

■水分や湿気が多い場所や、漏電・漏水の危険がある場所では、本製品を使用しないでください。

故障の原因になります。

# ▲ 注意

■振動する場所、不安定な場所に設置しないでください。 故障の原因になります。また、転倒したり、落下して、けがの原因になります。

### ■温度や湿度の高い場所、ほこりや油煙の多い所では使用しないでください。

直射日光の当たる場所や熱器具の近く、加湿器の近く、ほこりや油煙の多い場所などには設置しないでください。 故障の原因になることがあります。 本機をご使用の際は、本機の使用温度範囲をお守りください。

## ■シリアル通信規格「EIA-232-E」に準じない機器使用しないでください。

特殊なプロトコル、受信データ信号の問題で対応しない機器もありますのでご注意ください。





1

## [設定用スイッチ2]

#### 運用設定

設定の矢印を"0"に設定します。

#### ② リセット設定 設定の矢印を"1"に設定します。

#### ③ 設定

設定の矢印を"2"に設定します。









